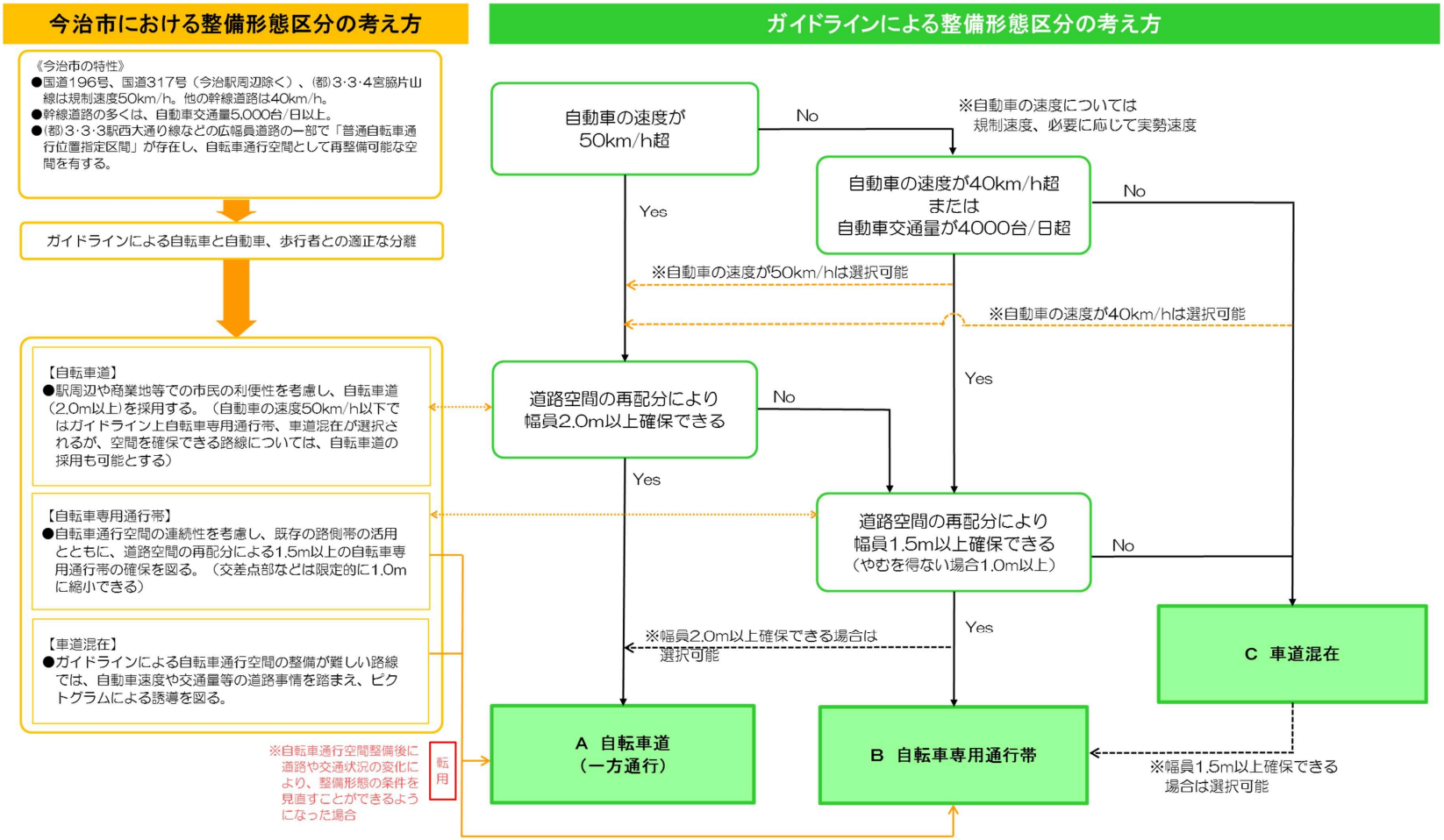
第３章　整備形態の選定

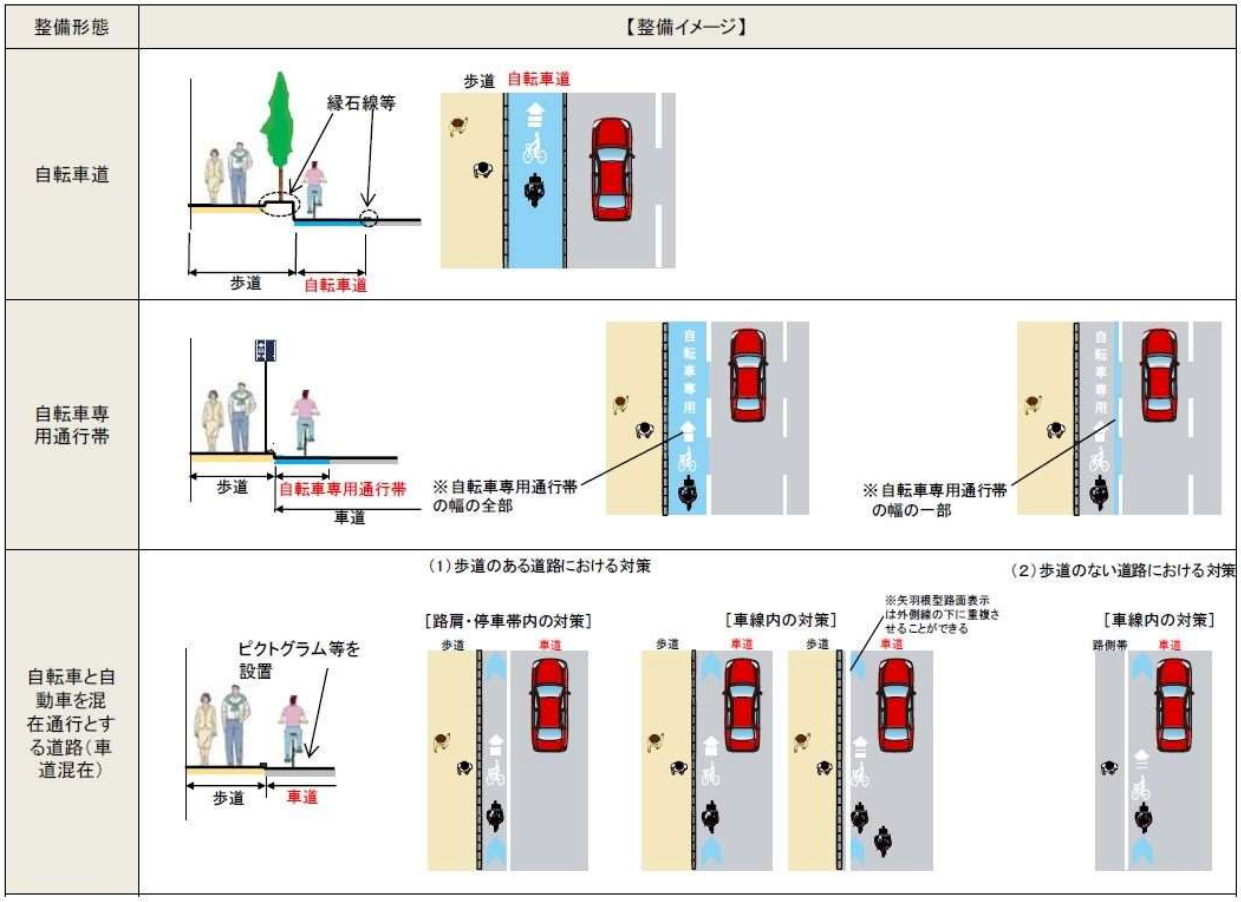
１　整備形態選定の考え方

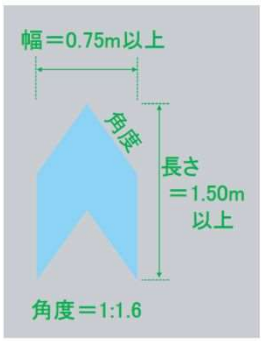
○自転車ネットワーク路線の整備形態の選定は、本市の充実した街路網の状況や路線ごとの道路空間配分の現状を踏まえ、国の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を目安として、以下の整備形態選定フローを基本とします。



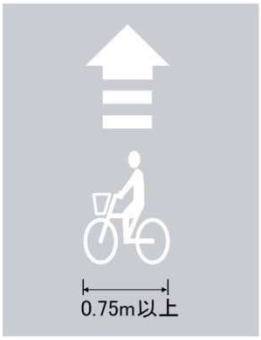
※備考《ガイドラインにおける双方向自転車道の条件》
①一定の区間長で連続性が確保されていること。
②区間前後・内に双方向自転車道が交差しないこと。
③区間内の接続道路が限定的で自転車通行の連続性・安全性が確保できること。
④ネットワーク概成段階で一方通行の規制をかけることができること。

自転車通行空間の整備形態選定フロー





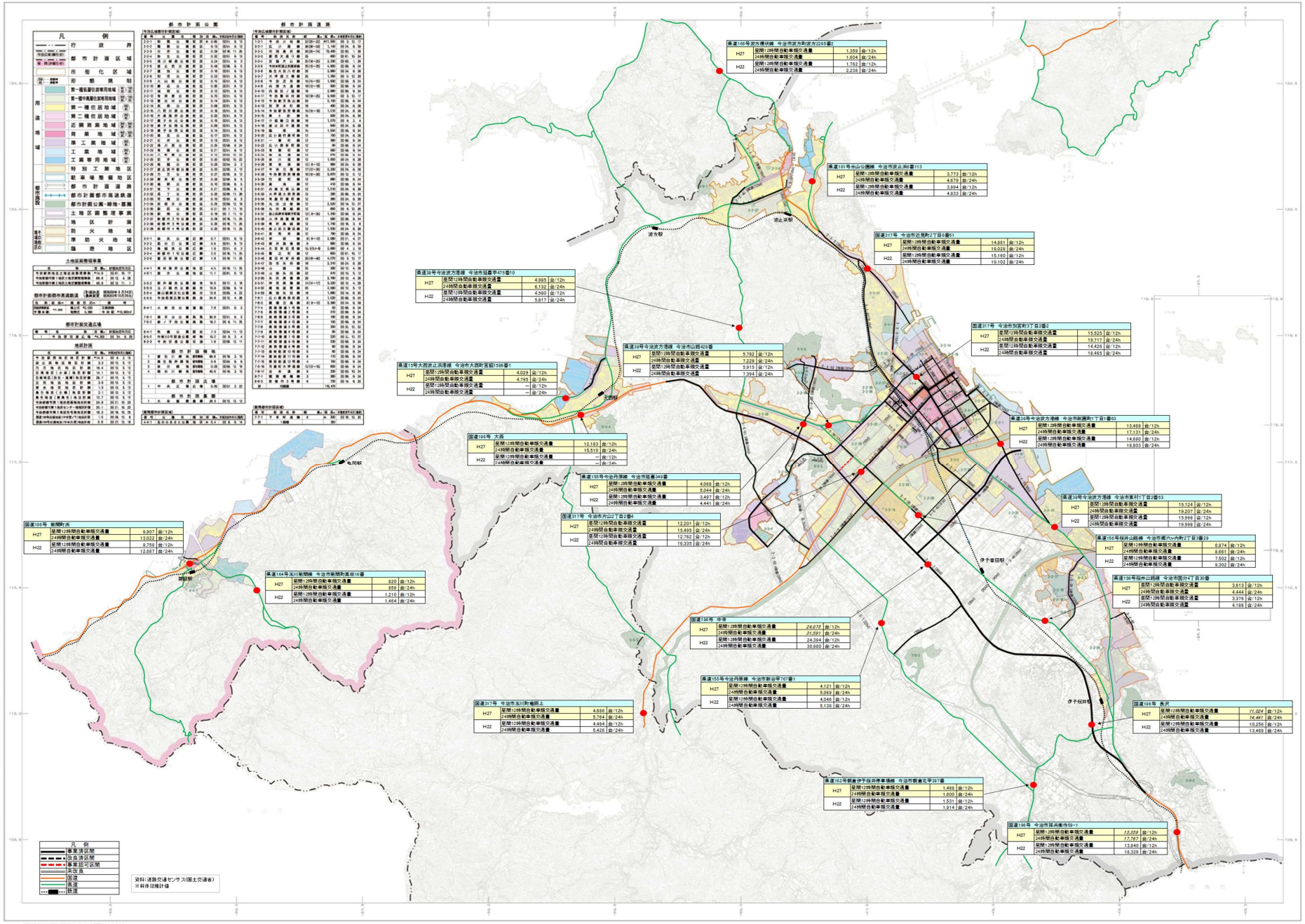
【矢羽根】



【ピクトグラム】

基本的な整備形態（イメージ）

（資料：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン H28 年７月及び改定に関する資料）



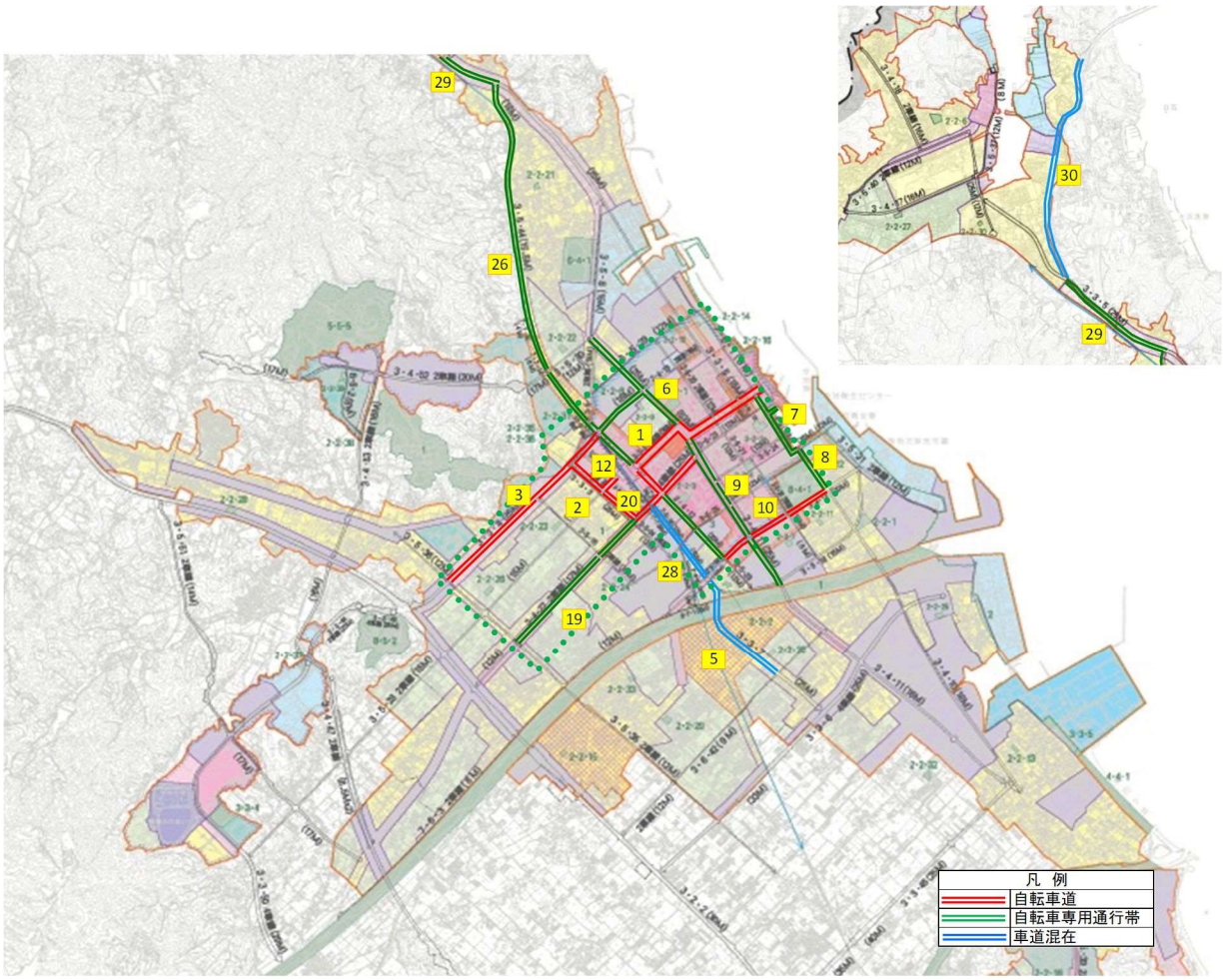
参考：自動車交通量の状況（道路交通センサス）

２　優先的計画策定エリア内における自転車ネットワーク路線の整備形態の選定

○自転車通行空間の整備形態選定フローに基づく優先的計画策定エリア内における自転車ネットワーク路線の整備形態（完成形態）は次のとおりとなります。

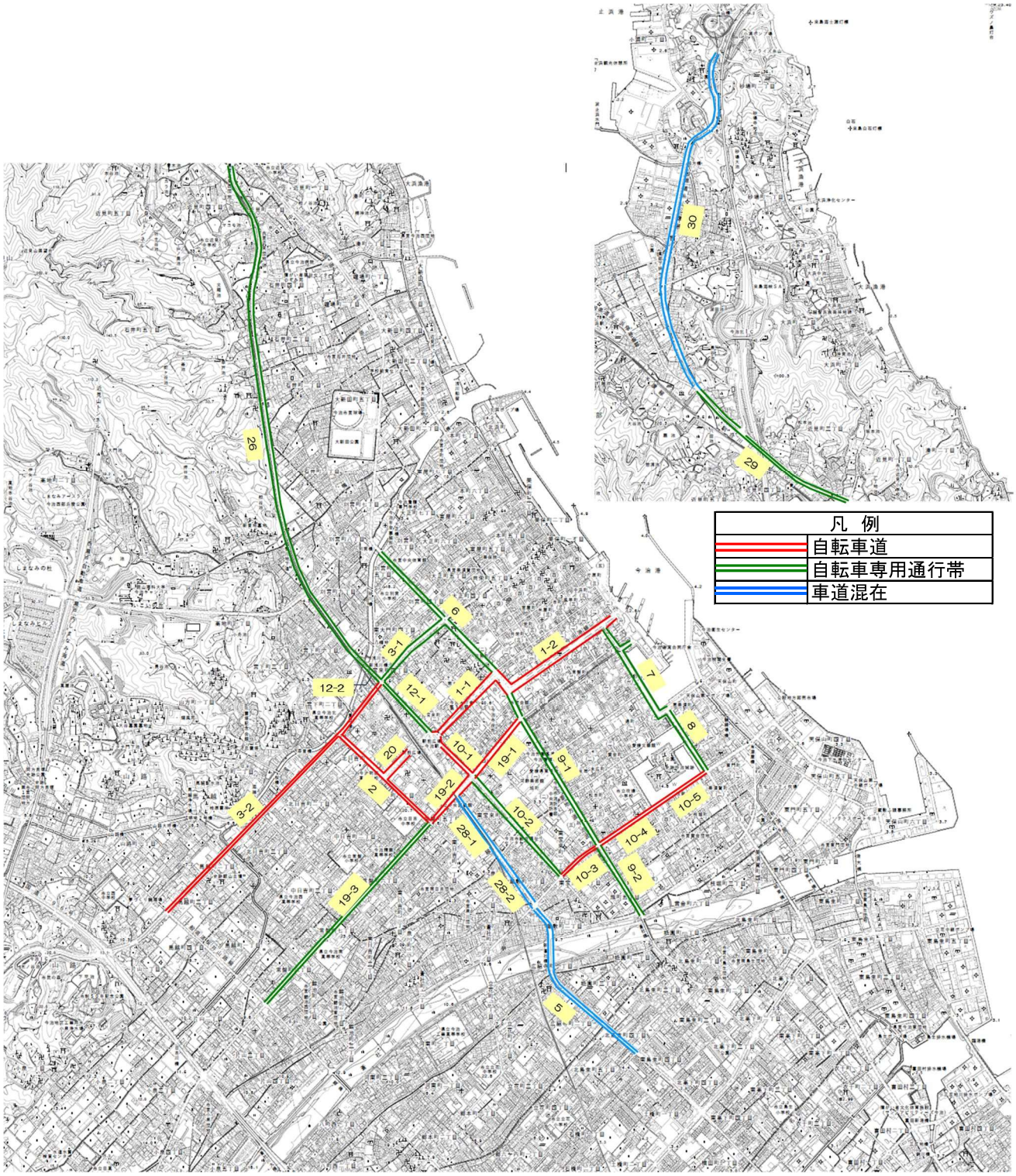
・優先的計画策定エリア内の自転車ネットワーク路線（16 路線、約 17.7km）の整備形態別の延長（上下方向計）は、自転車道区間約 5.3km、自転車専用通行帯区間約 9.1km、車道混在区間約３.３ｋｍとなります。

（※整備形態は、詳細調査等により見直される場合があります。）



No.	番号	名称	延長 (m)	幅員 (m)	優先エリア内 起点	優先エリア内 終点	優先エリア内整備形態 自転車道	自転車専用通行帯	車道混在
1	3･2･1	広小路線	1,140	36	今治駅東口	片原町2	○		
2	3･3･3	駅西大通り線	600	25	中日吉町1	宮下町3	○		
3	3･3･4	宮脇片山線	1,970	18～25	別宮町4	馬越町4	○	○	
5	3･3･7	大坪通土橋線	920	25	蔵敷町1	土橋町1			○
6	3･5･8	今治近見線	600	25	別宮町2	別宮町4		○	
7	3･4･9	内港大通線（臨港道路60m含む）	620	16～18	中浜町1	恵美須町2		○	
8	3･4･10	内港浜ノ窪線	350	18	恵美須町2	恵美須町2		○	
9	3･4･11	今治喜田村線	1,250	25	別宮町1	旭町4		○	
10	3･4･12	今治駅天保山線	1,780	20	今治駅東口	恵美須町2	○	○	
12	3･5･14	今治駅別宮橋線	430	15～18	今治駅東口	北宝来4		○	
19	3･4･27	今治日高線	1,880	17～25	ﾄﾝﾄﾞﾋﾞ交差点	片山3	○	○	
20	3･5･28	今治駅西高橋線	150	25	今治駅西口	中日吉町1	○		
26	3･5･44	北宝来近見線	2,660	15.5	北宝来町2	近見町2		○	
28	7･5･16	常盤町大坪通線	650	12～15	北宝来町1	蔵敷町1			○
29	3･3･5	今治本町波止浜高部線	960	25	近見町	高部		○	
30	県道	161号糸山公園線	1,780	15	高部	小浦町2			○
		合計	17,740						

優先的計画策定エリア内の自転車ネットワーク路線（区間）の位置及び整備形態（案）



優先的計画策定エリア内の自転車ネットワーク路線（区間）の整備形態（案）